



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度RIテーマ

R.I.会長
シェカール・メータ

RI第2620地区ガバナー
小林 聡一郎

2021～2022

NO.4

事務所 沼津市八幡町15
〒410-0881 ビレッジ35 303号
☎(055) 963-0515 ①963-5202
例会場 沼津市上土町100番地1
〒410-0802 沼津リバーサイドホテル
☎(055) 952-2411 ①952-2455
例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
会長 實石学
幹事 大友保志
会報委員長 望月美樹

再生紙を使用しております。

第3350回例会

2021.10.22

会長挨拶

会長 實石学

皆さんこんにちは。だいぶ朝晩涼しく過ごしやすくなりました。いかがお過ごしでしょうか。

本日は7月終わりの例会の休会から本日再開までの経緯等をお話しさせていただきたいと思います。7月から新年度が始まったわけですが、第3回例会を開催し第4回目は祝日休会でお休みでした。オリンピックも始まったこの頃から感染者が増え、7月の最終例会から休会となりました。沼津市でも感染が広がり近隣の会長とも協議しまして8月中は例会を休止にしようということを決めましたが、その後8/20に緊急事態宣言が発令され、その後9月一杯まで延長され9月の例会も休会となりました。緊急事態宣言解除後10月の例会は、10/15の第3回の例会が祝日例会でしたので様子見も含め再開は10/22と決めました。7月末からの休会が始まり皆さんと会えなくなったわけですが、このことにより色々な問題や障害が出てきました。例えば休会中の理事会をどう進めるか、地区からの問い合わせや指示にどう対応するか、他のクラブとの合同行事の調整や沼津クラブの行事についての判断等々、普段のクラブ運営と全く違うことに気が付きました。何を決めるにも皆書面やメールでのやり取りでした。しかしながら一番の問題は会員同士の繋がりが希薄になりロータリーそのものから気持ちが離れていくような気がして、これは大変なことになったと思いました。そこで皆様にもご案内をいたしました。オンラインによる特別例会を開催したわけです。この開催により少しでも皆が繋がりロータリーへの関心が薄れないように企画をしたわけですが、すべての問題が解決したわけではなく、まだまだこれから改善をしていかなければならないことがあるなと思っています。

年末に予想される第6波のことも含めどのようにクラブを運営していくかを皆さんと考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

米山奨学生 マドマン・ソピダ君

他RC出席 今田君・小林君・大熊君・横溝君(7.20沼津北)、實石君・大友君・山口君(8.7米山記念奨学セミナー)、實石君・大友君・清君・渡邊(秀)君(9.3 G期首訪問会長幹事会)、細澤君・實石君・清君・山口君(9.18米山梅吉記念館運営委員会)、實石君・大村君・マドマン・ソピダ君(10.10米山記念奨学生世話クラブカウンセラー研修会)、峯村君(10.17インターアクト指導者講習会)、吉野君(10.17RLI)

出席報告

欠席者(8名)

今田君、高地君、望月君、寺田君、大熊君、山本君、横溝君、渡辺(芳)君

会員総数	44名
出席計算に用いた会員数	43名
出席計算に用いた出席数	36名
出席率	83.72%
前々回の修正出席率	92.5%

プログラム

10月29日(金)

ロータリー財団地区補助金事業 贈呈式
(社会福祉法人共生会様)

会員誕生日 大石 昭裕、野口 陽一君

結婚記念日 三好 勝晴君、今田 孝司君

11月5日(金)

祝日週休会



前会長・幹事慰労会

前会長・幹事労いの言葉 東 宗徳君

皆さん、こんにちは。実にリアルでお会いするのは3か月振りになります。この間、リモートの例会も開かれており画面越しに皆さんのお元気な姿を拝見していましたが、登壇してお話するのは久しぶりになります。今日は7月の最終例会に予定されていた「前会長・幹事慰労会ならびに会長幹事激励会」これは例年では夜間例会で飲食を取りながら開かれていましたが、山本プログラム委員長からも通常例会の中での前会長・幹事への「労いの言葉」ということでお話させていただきます。振り返ると昨年7月には細澤パスト会長より温かい労いの言葉をかけていただいたことがつい最近のように思い出されます。

改めまして、野際前会長・峯村前幹事1年間大変ご苦労様でした。思い起こすと、新型コロナ感染拡大の影響で半年前から本格化する準備の中でP E T S や地区協議会も中止となり、本当に不安の中での船出だったと思いますが、私からのバトンをしっかり受け取ってもらいました。この間、1月から3月下旬まで3か月ほどの休会がありました。例会が開かれなくても色々工夫をこらして1年間を立派に務められました。

一番近くでつぶさに仕事ぶりを拝見していましたが、会長の時間では、壇上では私も緊張するのですが実に落ち着いて、それでいても穏やかな話しぶりの中に、シャンパンから始まりワインや食材、マナーの話題に至るまで魅了されるものがありました。

野際年度での仕事はいくつかありますが、私の年度からの持ち越しであったメイクアップに関するクラブ細則改正。F B の拡充。米山記念奨学生マドマン・ソピダさんを世話クラブとしての受け入れ。又、クラブ資料の共有化。週報の「理事会だより」では発言者と内容の記録。これらは、さまざまな意見を今後のクラブ運営に反映させることに役立ちます。

1年を振り返って、就任の挨拶で記憶に残っている言葉に「お役が人を育てる」というのがありますが、私の年度で副会長を引き受けるにあたり大変な苦悩があり大きな決断だったと思います。特に、6月の最終例会の後に体調を崩されたと聞いた時は、大きな負担をかけてしまったのかなと心配しましたが、その後は体調が戻られてすこし安堵しました。

峯村前幹事にはこの1年間、前例がない異例づくめの中で前会長を支えてクラブ運営をされて並々ならぬご苦労があったと思います。

お二人には、この1年のかけがえのない貴重な経験や体験を今後に生かしていただければと思います。

ガバナー公式訪問

ガバナー 小林 聡一郎様

9/3(金) 予定されていましたが小林G公式訪問は中止となりましたが、Zoomにて小林Gと会長・幹事・副会長・副幹事が面談を行い、その中でご挨拶をいただきました。

共存の中にこそ自分を生かす道がある

私たちはクラブをかけがえのない場と思い、例会を友愛や学びの場として尊く思ってきました。そして互いを思いやりながら、その心を地域や世界に向けて視野を広げ、活動を広げてきました。日本的な感性でそのようなロータリーを形成し発展させてきたのだと思いますが、日本という風土に見事に適合したRだと思えます。

一方世界的には、奉仕活動を主体にRを考える傾向にあり、R財団のポリオ根絶を始めとする取り組みのように、より多くの会員でより大きな奉仕活動を目指すこととなります。実際世界では、それだけ多くのニーズが存在し、ロータリアンの支援を必要としていることも現実です。

Rには最高絶対の単一概念が存在しません。常に「奉仕と親睦」「利己と利他」のように相対的に考えることを要求されますので、一つに決めつけるのではなく、日本的感性のRと奉仕活動の世界のRとを、どのように考えるのかということになります。でもこれは今の私たちにとっては、相反することではありません。どちらか一方のRしかないのではなく、その両方のバランスを上手にとりながらクラブに軸足を置いて、地域や世界で奉仕活動をしているという姿ではないでしょうか。当然クラブや例会を自己研鑽の機会と捉えてもいるでしょうし、人格形成の場ともしているでしょう。そしてそういう自分を他者のために活かすことも大きな使命とと思っているのだと思います。一人では生きられない共存の中にこそ自分を生かす道があるということだと思います。

R I 会長テーマ「SERVE TO CHANGE LIVES」

今年度のシェカール・メータR I 会長はテーマに「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しようーみんなの人生を豊かにするために」を掲げられました。そしてキーワードは「GROW MORE DO MORE」で、若い世代と女性をRに迎え入れて会員基盤を強くし、人々の人生が豊かになるよう奉仕活動をしましょう、と要請されました。世界的なニーズに応えるRの傾向に合致した年度テーマだと思います。地区においてクラブにおいてこの要請をどのように具現化するのかということで、会員基盤の強化については私なりの取組方策を提示させていただき、R奉仕デーについては各クラブに計画・実施していただくことにしております。会長始め会員皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

Onlineで新たなつながりを

ワクチン接種が進んでいるとはいえコロナ禍で視界不良のクラブ運営になりますのでご苦労されると思いますが、クラブに軸足を置いた例会と奉仕活動のバランスを上手にとって、会員相互の連携を強め、地域や世界で奉仕活動をしてくださるようお願いいたします。コロナ禍を経験した私たちは、onlineでの新たな繋がり方を手に入れました。Online開催の地区R L Iは何回もの実績を礎

として、全国的にもトップクラスと高評価されていますし、各クラブにおいてもハイブリッド例会や online 例会なども行われています。窮屈で不自由なコロナ禍でも人と人との繋がりには有効な方法ですので活用いただきたいと思っています。

ロータリー未来形成 (Shaping Rotary's Future)

今年初めに R I は「未来形成 (S R F)」という新たなプラン概要を提示しました。主には2030年から始める管理方法改革のためのプランで、2022年4月の規定審議会での審議対象になると言われています。現在分かっているのはここまでで、これから提示に対しての意見を取り入

れながら形成されていくことですから、具体的にどのようなものになるのかは現状でははっきりしません。しかしこのような R の未来に向けての取り組みが始まっていることだけをご承知おきいただきたいと思います。今年度これがどのように動き、地区としてどのように対処していくのかも手探り状態ですが、将来の地区にとって不利にならないような検討だけはしていかなければならないと思っています。

クラブ会長、幹事を始め、会員の皆さまと一緒に、本年度の第 2620 地区が「GROW MORE DO MORE」できますよう、ご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

第1回クラブ協議会②

紙面の都合により、内容を要約し掲載しています。
詳しくは、事業計画書をご覧ください。

公共イメージ向上 リーダー 大村 愛美

広報・F B と連携し R 活動を広く地域の方々に知っていただき、イメージ向上のための活動をします。マスコミ等に働きかけをするにあたっては、奉仕プロジェクトの各委員会とも連携し、協力を得ながら進めていきます。会員増強にもつながると思いますので、広報に関してのアイデアや情報の提供に皆様のご協力をお願いいたします。
広報・F B 沼津 R C の活動を市民により身近に感じてもらうように、マスメディアや S N S を通じて宣伝していきます。また、会員一人ひとりが広報マンとして活動してもらえるよう、委員会として応援していきます。I C T を利用して、より広い広報や R 活動にどこでも参加できるように準備していきます。

会員維持増強 リーダー 山口 和一

「2022年までに日本のロータリアンを105,000人に」の最終年度、一クラブとして目標達成の一助となるよう努めます。会員維持増強はクラブの発展・安定した運営・活性化には欠かせないものと考え、メンバーからは新会員候補者の推薦をしていただき増強に繋げていきたいと思っています。各小委員会と連携を密にとり会員維持増強に努めますが、会員の皆様のご協力もお願いいたします。
会員選考 会員より推薦された会員候補者がメンバーとして相応しいかどうかを判断し理事会に報告します。判断の基準は、「奉仕の精神への理解」「地域社会並びに職業上の評価」「例会、その他の会合への積極的な出席」「会員としての財政的な義務」などですが、次世代を担う会員候補者には「様々な変化に対応できる柔軟な思考力」「多様性に対する寛容や協調性」が考慮されます。
R 情報 「例会場に入りて学び、例会場を出でて奉仕せよ」が R の原点とされます。R の最新の情報のみならず、先人達が築き上げた R の歴史にも触れたいと思います。
会員増強 会員一人ひとりのご協力が頼りで、推薦いただく人材の情報提供やお声かけをしていくことで、会員増強に繋がっていくと思います。会員の自然減への対処をし、現状維持、できれば増強にもっていくことができれば、クラブ機能や活動を減らさずに済むと思います。みんなが一人を入会させるよう、ご協力をお願いいたします。

職業分類 各種の職業の多くは過去からの継続あるいはそれに関連した社会のニーズを満たすために生まれたものです。既になくなった職業もあれば、数多くの職業に発展し続けて今日に至っている職業もあります。あらゆる職業に対しその意義を理解し、次世代に繋ぐ各種の職業、その代表者を R の正会員として迎え、地域社会の発展に寄与するようにしていきたいと思っています。

奉仕プロジェクト リーダー 細澤 哲哉

奉仕プロジェクトは、R の根源である奉仕活動を行う重要な委員会であると考えます。久しぶりに米山奨学生を受け入れを行うこととなり、新たな刺激を受けることができる良い機会になると思います。また地区の方針として R 奉仕デーの開催、駅前花壇や千本浜清掃などの活動も引き続き行う予定です。コロナ禍の中、安心してご参加いただけますよう、各委員長と連携して進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

青少年 「学校が日頃取り組んでいる活動」「新たな地域貢献活動」をテーマとし、沼津商業高校と桐陽高校の I A C の支援を中心にしていきます。千本清掃、エンドポリオなどありますが、コロナ禍の状況を鑑み生徒さんの安全を優先し活動に参加していただくと思います。

職業奉仕 地区では数年前より奉仕委員会の一本化が行われ、今年是他団体を巻き込み行動することを求めています。沼津 R C では例年行われている研修と親睦を兼ねた活動を計画しています。時代の流れの中で、社会の一員として役に立つ団体は何をすればよいか、活動が評価され、会員の意識が高揚し、新会員の入会を促す行動は何か一年間考え行動してまいりましょう。

社会奉仕 「地域に役立つクラブ」への取り組みを推進していきます。地区では「R 奉仕デー」を設け、クラブ価値を高め、多様な媒体で積極的に発信するよう奨励しています。「千本をよくする会」と通じた千本浜公園の清掃、沼津駅南口のクラブ石碑及び花壇の清掃等を行います。皆様のご協力を賜り、無事に活動できますようお願いいたします。

国際奉仕 グローバル補助金活用の国際的奉仕活動の情報提供と活動推進を図り、他クラブの事例を参考に、活動の促進につなげたい。また、米山記念奨学生マドマン・ソビダさんが例会に出席したときには、皆様積極的に親しく声を掛け合い、大村カウンセラーと連携をとりながら、日本とタイとの交流親善を図ることを望みます。

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ
2. 米山記念奨学会へのご寄付のお願いポストイン・米山月間資料配布
3. 米山梅吉記念館賛助会員募集のお願い
4. 10/24(日)世界ポリオデー
5. 10/24(日)「世界ポリオ根絶サミット in D2780」のご案内
6. 2620地区米山学友会プロジェクト支援のお願い
7. 10/29(金)ロータリー米山スリランカ学友会・初代会長追悼式のご案内
8. 会員候補者のご通知と入会諾否のお伺い ポストイン
9. 当クラブクールビズは9月末日にて終了しました
10. 「ロータリーの友」「ガバナー月信」各8・9・10月号配布
11. 10月のロータリーレート 1ドル=112円
12. 日本経済新聞社 10/22(金) 全国版朝刊にロータリーの一面広告が掲載されました
13. 7/31(土) 地区会員増強維持セミナー (zoom)
⇒ 實石君・渡邊(真)君 2名出席
14. 7/31(土) I A 年次大会 (zoom)
⇒ ホスト校で感染者が出たため急遽中止
15. 8/7(土) 地区米山記念奨学セミナー (zoom)
⇒ 實石君・大友君・山口君 3名出席
16. 9/3(金) ガバナー公式訪問会長幹事会 (zoom)
⇒ 實石君・大友君・清君・渡邊(秀)君 4名出席
17. 9/4(土) 柿田川湧水地清掃 ⇒ 中止
18. 9/12(日) クラブ研修リーダー研修 ⇒ 延期
19. 9/18(土) 米山梅吉記念館秋季例祭 ⇒ 中止
20. 10/8(金) 沼津4RC 合同夜間例会
⇒ 延期(開催時期未定)
21. 10/10(日) ロータリー奉仕デー
⇒ 延期(開催時期未定)
22. 10/10(日) 米山記念奨学生世話クラブカウンセラー研修会 (zoom) ⇒ 實石君・大村君・マドマン・ソピダ君 3名出席 ⇒ 休会中の奨学金については各第一例会日付で振込送金
23. 10/17(日) インターアクト指導者講習会 (zoom)
⇒ 峯村青少年委員長 1名出席
24. 令和3年7月熱海豪雨災害支援金協力要請
⇒ 7/9・16例会にて受付、計45,000円を地区へ送金
⇒ ガバナー月信9月号に記事掲載
25. 令和3年8月佐賀・長崎豪雨災害支援金協力要請
⇒ 臨時理事会承認後、44,000円を地区へ送金
⇒ 2620地区57RCより2,164,500円の支援金が集まりました

26. 2024-25年度ガバナー決定
⇒ 甲府西RC小泉久司君に決定
27. 2020-21年度地区大会DVD・報告書到着
⇒ 事務局保管
28. 次年度理事および次々年度会長候補者指名委員任命のお知らせを配信
⇒ 指名委員：渡邊雅昭君・山口和一君・吉野聖一君・東宗徳君・野際宏行君 以上5名
29. 9/23(木・祝) 沼津駅前花壇整備
⇒ 實石君・大友君・塚本君 3名にて実施
30. 7月第2回・8月第3回・9月第4回定例理事会および第1回臨時理事会を書面にて開催

スマイル・ボックス

細澤君…改めましてよろしくお願ひいたします。
實石君…皆様お久しぶりです。例会が再開できたことをうれしく思います。これからもよろしくお願ひします。
小林君…先日は結婚記念日のプレゼントをいただきありがとうございます。また本日は妻の誕生日プレゼントをありがとうございます。今朝も「永遠の28歳!」と言っていました。朝からキツイギャグに付き合わされています…。
峯村君…本日は前会長・幹事慰労会、ありがとうございます。
村上君…皆様、お久しぶりです。このままコロナが収まってほしいです。
野際君…祝、例会再開。本日は慰労会ありがとうございます。
奥村君(米山委員会)…米山奨学金寄付のお願いですが、今年度は世話RCの立場もあります。全会員の特別寄付金を忘れずお願ひ申し上げます。
大村君…米山奨学生のマドマン・ソピダさんがこれから例会の受付など手伝ってくれることになりました。ぜひ、声を掛けてあげてください。
大友君…本日より、通常どおり例会を再開することとなりました。よろしくお願ひいたします。
向坂君…久しぶりです。
積君…皆さんに会えて嬉しいです。
高原君…例会休会中に、誕生祝いと結婚記念日のお祝いをいただき、ありがとうございました。
渡邊(雅)君…①妻と私の誕生日のお祝ひありがとうございました。②久しぶりです。みなさんの元気な笑顔が見れてうれしいです。
渡邊(真)君…久しぶりの例会にスマイルです。
山口君…皆様お久しぶりです。10日に、7人目の孫が生まれました。

ロータリーの標語

超我の奉仕

Service above Self